



赤い羽根共同募金

-じぶんの町をよくするしくみ-

生駒市共同募金委員会



困ったときは、お互いさま

赤い羽根共同募金は、10月1日から3月31日までの期間、全国一斉に行われます。また、12月からは、歳末たすけあい募金が始まります。

「困ったときはお互いさま」の精神から始まった赤い羽根の募金活動。世の中の、誰もがしんどい今こそ、そのチカラを発揮するときです。

今年度も、変わらぬご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

～赤い羽根共同募金実績のご報告（令和元年度）～

昨年10月から実施した共同募金運動では、多くの皆さまから多大なご協力をいただき、ありがとうございました。

皆さまからいただいた募金は、今年度の生駒市での地域福祉活動に活用させていただきます。また一部は、奈良県内で広域的に行われる活動や災害時の支援活動にも活用させていただきます。

赤い羽根共同募金	合計	7, 701, 316	円
歳末たすけあい募金	合計	4, 083, 211	円



～ 生駒での活用 ～

集まった募金は、地域で行われるさまざまな福祉活動の支援のほか、コロナ禍での支援活動などにも活用されています。

生駒での使いみちの一部を紹介します。



コロナ禍における地域サロン支援 ～生駒市社会福祉協議会～

新型コロナウイルス感染症の影響から、人と人とのつながりや希薄化が心配されています。

地域のつながりや介護予防にむけた取り組みが、「新しい生活様式」を取り入れながら、安全安心に活動ができるように、地域のサロン等に消毒液の配布と、活動費用の助成を行いました。

助成金は、サロン開催にむけて、体温計や衛生用品の購入等に活用されました。



子育てサロン（親子で楽しく） ～西地区民生児童委員協議会～

令和元年 11 月 19 日、未就学児を対象にサロンを開催。親子で一緒に歌を歌ったり、手遊び、手作りおもちゃを作ったりしました。

「手作りおもちゃが可愛い」「次回も楽しみにしています」などと声をかけてもらおうと、こちらも元気がもらえてうれしい気持ちになります。

地域の子育て支援の輪を広げるため、これからも続けていきたいと考えています。



友愛訪問電話 ～生駒市社会福祉協議会～

65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティアが電話での交流をおこなっています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、なかなか外出が難しくなっている中、お話し相手やつながりを求めて、利用される方も増えてきています。

利用者からは、「また電話待ってるよ！」「気分が沈まず前向きになる。」「コロナ禍でもお互い頑張ろう。」など、感謝や激励のお言葉をいただいています。